

13 事前準備・結果報告等

(1) 会議等

地元自治体や防災関係機関、道内各部署との会議等を開催し、訓練計画・項目・内容などについて、協議・調整を行うとともに、実施結果について報告を行った。

開催年月日	会議名等
平成 28 年 4 月 22 日	防災・減災対策推進本部幹事会（道内各部署等）
平成 28 年 4 月 26 日	原子力防災事務担当者会議（後志管内 13 町村）
平成 28 年 4 月 28 日	防災・減災対策推進本部員会議（道内各部署等）
平成 28 年 5 月 20 日	北海道防災会議幹事会
平成 28 年 5 月 30 日	北海道防災会議
平成 28 年 5 月 31 日	避難受入自治体担当者会議
平成 28 年 6 月 17 日	原子力防災訓練事務担当者会議（後志管内 13 町村） ※TV 会議
平成 28 年 7 月 15 日	原子力防災に関する連絡会議（石狩・後志・胆振・渡島管内関係市町村）
平成 28 年 9 月 15 日	原子力防災訓練事務担当者会議（後志管内 13 町村、防災関係機関） ※TV 会議
平成 28 年 10 月 7 日	防災・減災対策推進本部原子力部会（道内関係各部署等）
平成 28 年 10 月 14 日	原子力防災訓練事務担当者会議（後志管内 13 町村、防災関係機関） ※TV 会議
平成 28 年 11 月 8 日	原子力防災訓練事務担当者会議（後志管内 13 町村、防災関係機関） ※TV 会議
平成 29 年 1 月 17 日	原子力防災に関する連絡会議（石狩・後志・胆振・渡島管内関係市町村）
平成 29 年 3 月 27 日	原子力防災事務担当者会議（後志管内 13 町村）

(2) 北海道防災会議原子力防災対策部会専門委員会

北海道防災会議原子力防災対策部会専門委員会から訓練内容について専門的見地からの意見を伺うとともに、実施結果について専門委員（学識経験者）に対する報告を行った。

- ・平成 28 年 8 月 26 日 専門委員（学識経験者）との意見交換
- ・平成 28 年 11 月 13・14 日 専門委員（学識経験者）による訓練視察
- ・平成 29 年 3 月 30 日 有識者専門委員会

(3) 住民等への周知

訓練の実施について、道及び関係 13 町村のホームページや広報誌に掲載するとともに、「原子力防災だより」を関係 13 町村全戸や各町村内の主要施設に配布するなど、住民への周知を行った。

また、原発を立地している他県や道内関係市町村に対し、周知を行った。

(4) その他

- ・平成 28 年 11 月 1 日 北海道議会総務委員会へ訓練実施について報告
- ・平成 28 年 11 月 4 日 報道機関へ訓練の実施について事前レクチャー
- ・平成 28 年 11 月 13・14 日 北海道議会総務委員会による訓練視察
- ・平成 28 年 11 月 14 日 報道機関へ訓練の実施結果について事後レクチャー
- ・平成 28 年 11 月 28 日 北海道議会総務委員会へ訓練実施結果について報告

第2 原子力防災訓練（冬季・暴風雪）

(1) 目的

北海道後志地方を中心に厳しい暴風雪が発生する中、原子力災害の事態が進展する状況を想定し、当該状況下における住民の防護措置に係る対応手順等を確認する。

※平成28年11月に実施した総合訓練は、原子力災害への対応手順を総合的に検証することを目的として実施しましたが、本訓練は総合訓練で実施できなかった冬季の暴風雪を想定して、P A Z圏内の防護措置に係る対応手順を確認しています。

(2) 主催

北海道、U P Z圏内13町村 ※国との合同訓練として実施（原子力総合防災訓練の一環）

(3) 参加・協力機関

内閣府、原子力規制委員会、北海道、泊村、共和町、U P Z圏内11町村、国土交通省北海道開発局、気象庁札幌管区气象台、海上保安庁第一管区海上保安本部、陸上自衛隊北部方面隊、泊原子力規制事務所、北海道地方放射線モニタリング対策官事務所、北海道警察、岩内・寿都地方消防組合、北後志消防組合、羊蹄山ろく消防組合、(一社)北海道バス協会、小樽建設協会、(株)NTTドコモ北海道支社、北海道電力(株)

【参加機関：30機関、参加人数：防災関係者403人、住民58人】

(4) 実施日時

平成29年2月4日（土） 9：00～15：40

(5) 訓練想定

- ・ 発達する低気圧の影響により、後志地方を中心に厳しい暴風雪が発生する中、泊発電所3号機において定格熱出力一定運転中、設備故障等により原子力災害の事態が進展し、全面緊急事態まで至る。
- ・ 暴風雪下での車の立ち往生や交通事故などの2次被害を防ぐため、無理な避難は行わず、屋内退避を継続した上で、天候回復と道路状況を確認した後にP A Z圏内の避難を開始

(6) 項目・内容

項目	内容
緊急事態応急対策拠点施設（OFC）運営訓練	<ul style="list-style-type: none"> ○臨時OFCの開設（道庁地下1階危機管理センター） <ul style="list-style-type: none"> ・内閣府副大臣をはじめ、国の現地派遣要員等が臨時OFCで初動活動 ○臨時OFCから北海道原子力防災センター（OFC）への移転 <ul style="list-style-type: none"> ・天候の回復状況等を踏まえ、国からの現地派遣要員等がバスで移動 ○TV会議システムを活用した情報共有や意思決定 <ul style="list-style-type: none"> ・国、道、13町村が暴風雪下での対応方針を協議・確認
緊急時モニタリングセンター（EMC）運営訓練	<ul style="list-style-type: none"> ○臨時EMCの開設（原子力環境センター札幌分室）やOFCへの移転
住民避難訓練	<ul style="list-style-type: none"> ○P A Z内施設敷地緊急事態要避難者の避難 <ul style="list-style-type: none"> ・自力での除雪・避難が困難な要配慮者の救出・搬送 ○P A Z内住民の避難 <ul style="list-style-type: none"> ・避難道路の除雪など関係機関の支援による天候回復後のバス避難
安定ヨウ素剤の緊急戸別配布訓練	<ul style="list-style-type: none"> ○天候回復を待つ間のP A Z内住民に対する緊急戸別配布 <ul style="list-style-type: none"> ・町の除雪車の支援を受け、配布チームが各戸配布（共和町）
ヘリによる物資緊急輸送訓練	<ul style="list-style-type: none"> ○小樽建設協会による臨時ヘリポート開設のための除雪 ○陸上自衛隊ヘリによる可搬型携帯電話基地局の空輸

[OFC運営訓練]

＜TV会議＞



危機管理センター（道庁B1F）

＜臨時OFCでの合同対策協議会＞



危機管理センター（道庁B1F）

＜OFCでの合同対策協議会＞



北海道原子力防災センター（OFC）

[住民避難訓練（要配慮者の救出・搬送）]

＜救出に向かう除雪車と消防車両＞



共和町ヤチナイ会館

＜要配慮者の救出＞



共和町ヤチナイ会館

＜消防車両による住民搬送＞



共和町ヤチナイ会館

[住民避難訓練（天候回復後のバス避難訓練）]

＜バス集合場所の開設＞



北電体育館

＜住民のバス避難＞



北電体育館

＜除雪車とパトカーによるバス先導＞



北電体育館

[安定ヨウ素剤の緊急戸別配布訓練]

＜安定ヨウ素剤配布チームの出発＞



共和町役場

＜安定ヨウ素剤配布員＞



共和町ヤチナイ地区

＜安定ヨウ素剤の戸別配布＞



共和町ヤチナイ地区

[ヘリによる物資緊急輸送訓練]

＜小樽建協による臨時ヘリポートの除雪＞



北電臨時ヘリポート

＜陸自ヘリによる携帯電話基地局の空輸＞



北電臨時ヘリポート

＜(株)NTTドコモによる基地局の設置＞



北電体育館

(7) 訓練の流れ

		2月4日(土)										
		【訓練実施場面】										
		18:00	0:00	6:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
主要な事態の推移	気象状況 (後志地方)		暴風雪警報		激しい暴風雪の発現(数年に一度の猛吹雪)		風雪注意警報					
	原子力災害	警戒事態 蒸気発生器 給水機能喪失 のおそれ	施設敷地緊急事態 蒸気発生器給水機能喪失の真実	施設敷地緊急事態 蒸気発生器給水機能喪失後の非常用炉心冷却装置注水不能	全面緊急事態 給水機能が一部復旧 (事態収束へ)							
中央の体制	規制委員会・ 内閣府原子力防災 【仮想】	原子力事故合同 警戒本部 (規制庁ERC)	原子力事故合同 警戒本部 (規制庁ERC)	原子力事故合同 警戒本部 (規制庁ERC)	原子力事故合同 警戒本部 (規制庁ERC)	原子力事故合同 警戒本部 (規制庁ERC)	原子力事故合同 警戒本部 (規制庁ERC)	原子力事故合同 警戒本部 (規制庁ERC)	原子力事故合同 警戒本部 (規制庁ERC)	原子力事故合同 警戒本部 (規制庁ERC)	原子力事故合同 警戒本部 (規制庁ERC)	原子力事故合同 警戒本部 (規制庁ERC)
	OFC	原子力事故合同 現地警戒本部	原子力事故合同 現地警戒本部	原子力事故合同 現地警戒本部	原子力事故合同 現地警戒本部	原子力事故合同 現地警戒本部	原子力事故合同 現地警戒本部	原子力事故合同 現地警戒本部	原子力事故合同 現地警戒本部	原子力事故合同 現地警戒本部	原子力事故合同 現地警戒本部	原子力事故合同 現地警戒本部
現地の体制	北海道	警戒本部	警戒本部	警戒本部	警戒本部	警戒本部	警戒本部	警戒本部	警戒本部	警戒本部	警戒本部	警戒本部
	主な要員(国)の 動き	(空路により北海道 (丘珠)へ移動)	(空路により北海道 (丘珠)へ移動)	(空路により北海道 (丘珠)へ移動)	(空路により北海道 (丘珠)へ移動)	(空路により北海道 (丘珠)へ移動)	(空路により北海道 (丘珠)へ移動)	(空路により北海道 (丘珠)へ移動)	(空路により北海道 (丘珠)へ移動)	(空路により北海道 (丘珠)へ移動)	(空路により北海道 (丘珠)へ移動)	(空路により北海道 (丘珠)へ移動)
国からの 要請/指示		○暴風雪からの安全を確保 (屋内退避の実施) ○天候回復など暴風雪から の安全が確保され次第、 ・PAZ内要配慮者は退避 準備	○暴風雪からの安全を確保 (屋内退避の実施) ○天候回復など暴風雪から の安全が確保され次第、 ・PAZ内要配慮者は退避 準備	○暴風雪からの安全を確保 (屋内退避の実施) ○天候回復など暴風雪から の安全が確保され次第、 ・PAZ内要配慮者は退避 準備	○暴風雪からの安全を確保 (屋内退避の実施) ○天候回復など暴風雪から の安全が確保され次第、 ・PAZ内要配慮者は退避 準備	○暴風雪からの安全を確保 (屋内退避の実施) ○天候回復など暴風雪から の安全が確保され次第、 ・PAZ内要配慮者は退避 準備	○暴風雪からの安全を確保 (屋内退避の実施) ○天候回復など暴風雪から の安全が確保され次第、 ・PAZ内要配慮者は退避 準備	○暴風雪からの安全を確保 (屋内退避の実施) ○天候回復など暴風雪から の安全が確保され次第、 ・PAZ内要配慮者は退避 準備	○暴風雪からの安全を確保 (屋内退避の実施) ○天候回復など暴風雪から の安全が確保され次第、 ・PAZ内要配慮者は退避 準備	○暴風雪からの安全を確保 (屋内退避の実施) ○天候回復など暴風雪から の安全が確保され次第、 ・PAZ内要配慮者は退避 準備	○暴風雪からの安全を確保 (屋内退避の実施) ○天候回復など暴風雪から の安全が確保され次第、 ・PAZ内要配慮者は退避 準備	○暴風雪からの安全を確保 (屋内退避の実施) ○天候回復など暴風雪から の安全が確保され次第、 ・PAZ内要配慮者は退避 準備
	住民退避の動き(注1)		屋内退避 ※暴風雪発現を踏まえ屋内退避を実施	屋内退避 ※暴風雪発現を踏まえ屋内退避を実施	屋内退避 ※暴風雪発現を踏まえ屋内退避を実施	屋内退避 ※暴風雪発現を踏まえ屋内退避を実施	屋内退避 ※暴風雪発現を踏まえ屋内退避を実施	屋内退避 ※暴風雪発現を踏まえ屋内退避を実施	屋内退避 ※暴風雪発現を踏まえ屋内退避を実施	屋内退避 ※暴風雪発現を踏まえ屋内退避を実施	屋内退避 ※暴風雪発現を踏まえ屋内退避を実施	屋内退避 ※暴風雪発現を踏まえ屋内退避を実施

(注1) 実動訓練は意思決定訓練のシナリオとは切り離して実施

(8) 実動訓練の実施場所

※各訓練時間は予定

【PAZ内住民の避難(避難道路の除雪含む)】
 <泊村 照岸・糸泊地区集会所> 12:50頃
 ※集合場所開設
 ※バス避難開始(除雪車の支援) 13:40頃

【泊発電所】

【PAZ内住民の避難(避難道路の除雪含む)】
 <共和町 北電体育館>
 ※集合場所開設
 ※バス避難開始(除雪車の支援) 14:30頃

【PAZ内施設敷地緊急事態要避難者の避難】
 <共和町 ビンヤムナイ会館>
 ※救出チーム到着・活動 13:40頃
 ※救出完了・搬送開始 13:50頃

【ヘリによる物資緊急輸送】
 <共和町 北電臨時ヘリポート>
 ※「おたる災害駆け付け隊」による除雪 14:00頃
 ※自衛隊輸送ヘリ着陸 14:05頃

【安定ヨウ素剤の緊急戸別配布】
 <共和町 ヤチナイ地区>
 ※配布チームの共和町役場出動 13:15頃
 ※配布チームによる戸別配布開始 13:30頃

共和町役場

八内岳

角山

日本海

229

276

5

共和町役場

(C)2016ZENRIN(Z05E-第175号)